

第 39 回電気通信普及財団賞 表彰者コメント ～テレコム学際研究学生賞～

< 順不同 >

※括弧内の所属は当論文賞受賞時のものです。

Harin Hapuarachchi 氏

(豊橋技術科学大学大学院工学研究科 博士後期課程 2 年)

テレコム学際研究学生賞 入賞

「Knowing the intention behind limb movements of a partner increases embodiment towards the limb of joint avatar」



この度は、「第 39 回電気通信普及財団賞テレコム学際研究学生賞 入賞」という栄えある賞を賜り、大変光栄に存じます。電気通信普及財団の皆様、および審査いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。また、本研究におきまして多大なるご指導をいただいた豊橋技術科学大学 北崎充晃教授に心より感謝申し上げます。

受賞論文では、左右の半身を別々の人が操作する結合身体アバターを開発し、パートナーである他者が操作する腕の身体性に影響を与える要因を研究しました。結合身体アバターは、2 人以上の人がそれぞれの得意な身体部位や技能を組み合わせるといった新しいタイプの共同作業方法を提供しており、マルチタスクの効率化や障害者の社会活動支援に活用できる可能性もあります。

今回の受賞を励みに、共有身体 (co-embodiment) 分野に関する新しい技術の発展とそれらの技術が人の知覚に与える影響の解明への貢献を目指して、研究を進めてまいりたいと存じます。

末筆ではございますが、貴財団の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

第 39 回電気通信普及財団賞 表彰者コメント ～テレコム学際研究学生賞～

<順不同>

※括弧内の所属は当論文賞受賞時のものです。

前田 清洲 氏

(Princeton 大学コンピュータサイエンス学部 博士課程 1 年)

テレコム学際研究学生賞 奨励賞

「CalmResponses: Displaying Collective Audience Reactions in Remote Communication」

この度は、「第 39 回電気通信普及財団賞テレコム学際研究学生賞 奨励賞」という名誉ある賞を賜り、誠に光栄に存じます。電気通信普及財団の皆様および審査員の皆様に厚く御礼申し上げます。また本研究を遂行するにあたりご協力いただいた共著者の荒川陸さん、多大なるご指導いただいた東京大学情報学環の暦本純一教授に深く感謝いたします。

本研究は、一体多の遠隔コミュニケーションにおいて視線や頷きといった聴衆の非言語的な反応を話者に対してリアルタイムかつ集合的に提示する手法を提案し、提案手法の話者や聴衆への影響を調査した研究です。発話中に言い淀みの回数が減る・発表に対する自己評価が上がるといった話者に対する利点だけでなく、聴衆の匿名性を維持しながらも聴衆の一体感を高める可能性があるといった示唆も明らかになりました。

今回の受賞を励みに、人間とコンピュータのインタラクションのあり方について研究を通じてより一層深く探求していけるように、今後も精進して参ります。最後になりますが、貴財団の益々のご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。